

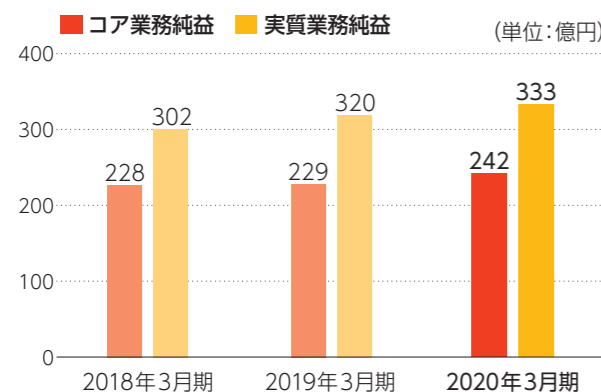
業績ハイライト

■ 主要な経営指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	前期比
連結経常収益	1,611	1,650	△ 38
連結経常利益	343	334	△ 9
親会社株主に帰属する当期純利益	224	220	△ 4

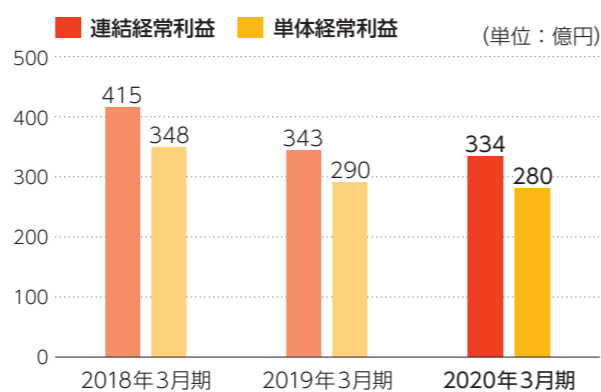
	2019年3月期	2020年3月期	前期比
経常収益	1,210	1,244	33
業務純益	350	323	△ 27
経常利益	290	280	△ 10
当期純利益	218	195	△ 22

■ コア業務純益・実質業務純益



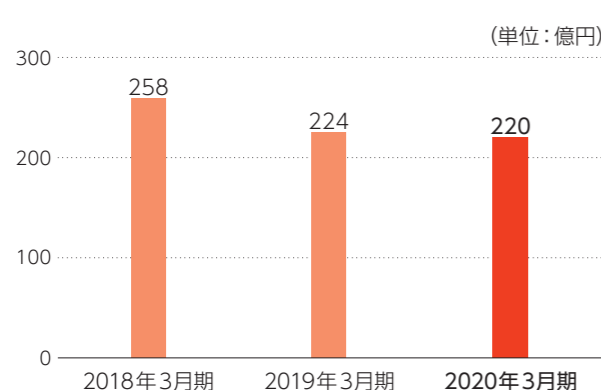
有価証券利息配当金の増加による資金利益の増加や経費の減少などによりコア業務純益は前期比13億円、実質業務純益は同12億円増加しました。

■ 経常利益



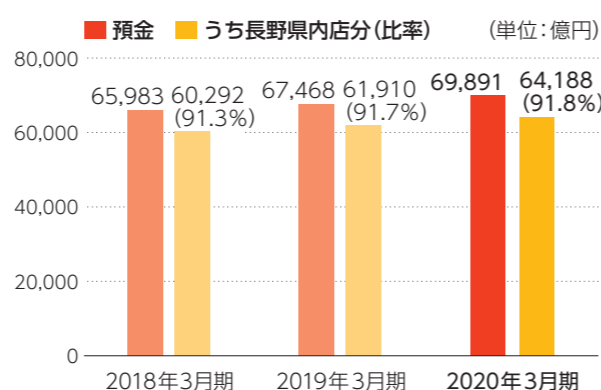
実質業務純益は増加したものの、株式売却損の増加による株式関係損益の悪化などにより、単体経常利益は280億円(前期比10億円減少)となりました。

■ 親会社株主に帰属する当期純利益(連結)



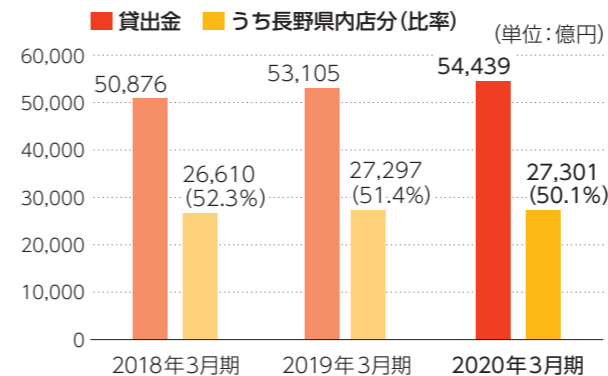
当行単体の経常利益の減益などにより220億円(前期比4億円減少)となりました。

■ 預金



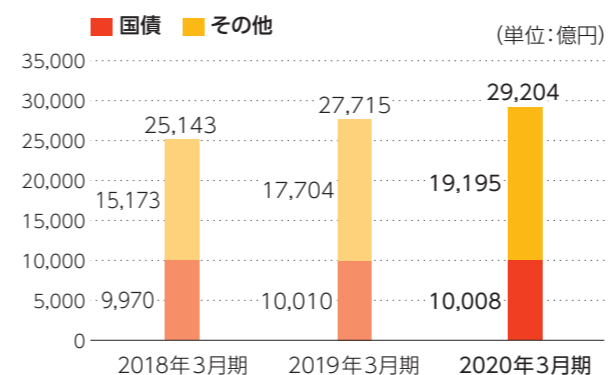
個人・法人預金を中心に増加し6兆9,891億円(前期比2,422億円増加)となりました。うち、長野県内店預金は6兆4,188億円となりました。

■ 貸出金



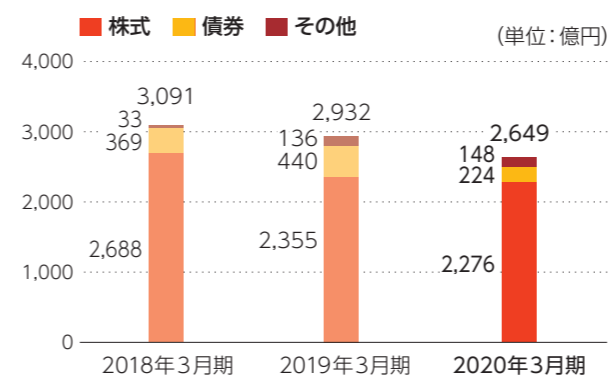
事業性・消費性資金いずれも増加し5兆4,439億円(前期比1,334億円増加)となりました。うち、長野県内店貸出金は2兆7,301億円となりました。

■ 有価証券残高



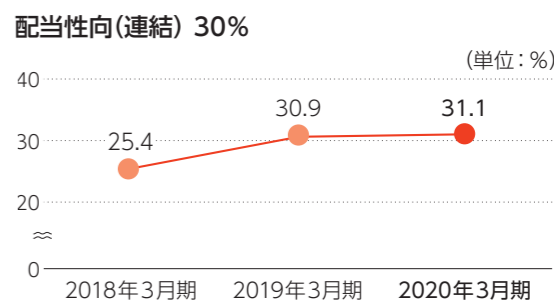
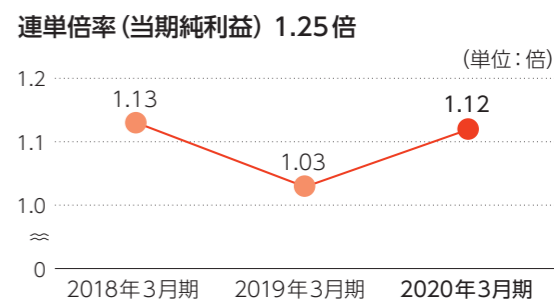
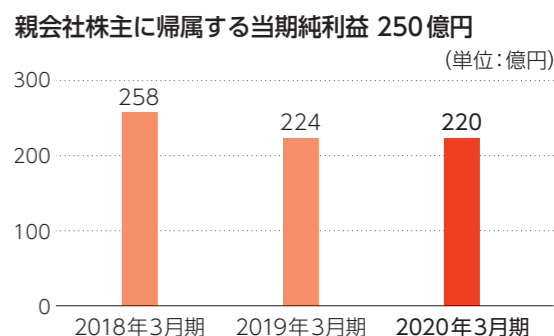
外国証券・社債などの増加により、2兆9,204億円(前期比1,488億円増加)となりました。

■ 有価証券評価損益

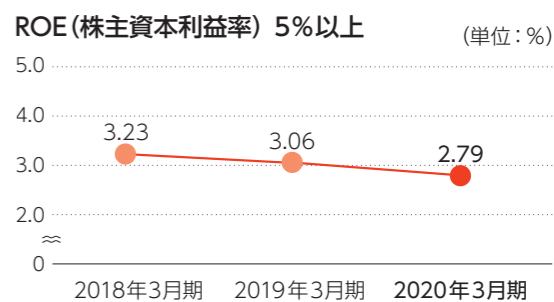


金利の上昇などによる債券評価益の減少および株式時価の下落などにより2,649億円(前期比282億円減少)となりました。

■ 目標とする経営指標(2021年3月)



■ 長期的経営指標



連単倍率
親会社の単体決算の利益に対する連結決算の利益の倍率
親会社株主に帰属する当期純利益/当期純利益(単体)

配当性向(連結)
当期純利益(連結)を、配当として株主に還元している比率
年間配当額/1株当たり当期純利益

ROE(株主資本利益率)
企業の収益性を測る指標
当期純利益/自己資本(期首・期末平均)

用語解説
コア業務純益
実質業務純益から債券売却などによる利益を除いた利益

用語解説
実質業務純益
一般企業の営業利益に準じた銀行本来業務の利益